

男性が買いやすく、相談しやすいフラワーショップ

# Flile Flile (フリール・フリール)



誰かに助けられ、  
恩返しをする。  
その繰り返しです。

母の日、彼女の誕生日、記念日、クリスマス、ホワイトデー。プレゼントとしてお花を選ぶ人は少なくない。しかし、男性にとってフラワーショップは、若干敷居の高いものではないだろうか。

お花の名前も知らないし、季節にあったお花、相手に好感を持たれるコーディネートなど、迷うことがたくさんあるように思われる。

大分市の生石港町に平成24年にオープンした「Flile Flile (フリール・フリール)」は、そんな男性に配慮した、「男性が買いやすいフラワーショップ」である。

## 「お花を買う難しさ」を解消

男性のお客様には、まず、「お花のことがわからない」というのが一番大きいと思うんです。お花の名前はバラとひまわりぐらいしか知らないという方が男性の9割なのではないでしょうか。

また、「バラって1本いくらするんだろう」ですとか、「花束を送りたいが、予算はいくらあれば足りるんだろう」といったような、価格に関する不透明感もあると思います。

加えて、フラワーショップの店員は女性が多く、お客様も女性が多い。相談したいと思ったときに話しかけづらいと思うんです。

自分自身もそんな風感じていましたし、街のいろいろなところでも、そういう男性のお客様をちょこちょこ見かけていたんです。

「Flile Flile」は、そうした男性視点の「フラワーショップへの入りづらさ」解消を目指して開店しました。

## サッと入って5分で帰れる

店舗の立地を検討するとき、人通りの多さや、駅前・駅周辺といった市街地へのアクセス、駐車

場の広さなどには、あまりこだわりませんでした。

「サッと入って、お花を選び、“これください”とだけ言って、5分で帰れる」ような、そういう店構え、場所がいいな、と考えていました。

また、フラワーショップでは、大きい冷蔵庫にお花がたくさんあって、きれいに光が当たっています。その中から「これとこれとを組み合わせ花束を作ってもらえますか」と言えるお客様はなかなかいないんじゃないかと思います。

当店では、私がアレンジしたもの（コーディネート済みのもの）だけを提供しています。

ショーケースにコーディネート済みのお花を置いておき、余計な会話はなし。「これください」「ありがとうございます」「またお願いします」といったシンプルなスタイルが、男性のお客様にとってストレスがかからないのかな、と考えています。

営業時間を20時までに行っているのも、男性のお客様への配慮です。

平日でも彼女、奥様のお誕生日はやってきます。



選びやすいように工夫された店内

お客様は「お花を買わないとなあ」と思っている。しかし、忙しくて昼間に買い物できる状況ではない。

「もう夜の7時だ、どうしよう、フラワーショップは閉まっているだろうな」という時に、1時間ではありますが、「当店は8時まで開いています」というのも一つの売りです。

## 前職時代のつながりも大切に

私は、小売り専門のフラワーショップに5年ほど勤めていました。そのお客様は9割ぐらいが女性で、男性は一握りでした。

その後、冠婚葬祭関連の事業所の生花事業部で10年間勤務しました。そこでは、結婚式や葬儀の装花を扱いながら、勉強を重ねました。

現在も、ショップでの販売以外に装花の仕事をいただいているのですが、前職でお付き合いをさせていただいた方にお世話になっています。

前職の頃から私の装花を「いいね」と言ってくださっていたお客様に、「今度独立しようと思っ

装花の受注は、売上にも寄与しています。

男性専門のフラワーショップを成長させていく自信はありますが、ショップ売上以外にも装花という収益の柱があることを心強く思っています。

ブライダルなど、現在いただいているお仕事は大事にさせていただいています。

## 事業計画作成で“収益性”を意識

創業準備は、自分では結構スムーズだったと思っているのですが、一番苦労したのは、事業計画の作成でした。

大分商工会議所に相談しながら、事業計画の良いところ、甘い点などについて細かくアドバイスをいただき、時間をかけて作成していきました。

開業に当たって借入をしているのですが、「借入を受けられる事業計画」という視点の必要性を感じました。装花事業も含め、「収益がきちんと出る」ことを説明できなければ、借入を受けることはできません。

商工会議所の担当者から、「思いの込もった良い事業計画であっても、収益性をしっかり説明できなければ金融機関に説明できない」ということを教えてもらいました。

借入に当たっては、親族の理解を得て担保が設定できたことも大きかったです。



スタイリッシュにアレンジされた商品が並ぶ

## お客様の更なる満足求めて

今後は、新しいものを作っていくと同時に、お客様にご満足いただくための工夫を重ねていきたいと思っています。

お客様にワクワクしていただける商品のご提供はもちろん、持ち運びしやすいプレゼント用バッグ、工夫を凝らしたラッピング、手に取りやすい陳列など、小さなところから、お客様に喜んでいただくための努力を積み重ねていきたいです。

## これから創業を目指す方へ

創業・経営は、「誰かに助けられ、恩返しをする」ことの繰り返しなのではないかと思えます。

「起業したら、サラリーマン時代の給料よりどれだけ儲かるだろう」とか、「今月は何十万儲けてやる」といった“自分目線”では、経営は続かないのではないかと考えています。

「お客様にお花をお買い上げいただいた」「いただいたお金で、更にお客様にご満足いただけるようなお花を仕入れ、アレンジする」。

私の経営は、その繰り返しです。

## DATA

店名：Flile Flile  
(フリール・フリール)  
業種：生花販売・卸売  
代表者：坂井 重憲  
創業：平成24年3月  
住所：大分市生石港町2-6-11  
かんたんコアビル1階  
TEL：097-534-7711  
WEB：「フリール・フリール」を検索してください。